

みんなの阿波おどり

高円寺阿波おどりは、多くの人に支えられています！

60周年を迎えた高円寺阿波おどりは、行政各位の皆様、地元の商店会や町会の皆様、そして地域の多くの皆様の応援があってこそ開催ができます。特に第51回(2007年)からはボランティアチームが毎年結成され、学生さんを中心にしたメンバーに地元の杉並第八小学校の児童達も参加し、高円寺阿波おどりの心強い力となっております。

ボランティア草創期

終戦後の成長と繁栄の20世紀から21世紀に入り、高円寺の街の在り様も変化が始まりました。商店街では今までのお店が商売を閉じて貸店舗が増え、町会・自治会では高齢化が進み、それまで高円寺の阿波おどりを担っていた方々のマンパワーの不足が深刻化してきました。

そのような状況を改善するために、第46回(2002年)にボランティアの導入が発案され、さっそく募集を始めましたが応募者もなく、まずは「**人集めの壁**」にぶつかりました。



第48回(2004年)には杉並区内の専修学校を中心に募集を行い、東放学園・織田福祉専門学校・創価学会青年部・立正佼成会交通部からボランティア60名程が集まりましたが、今度はボランティアの運営が不慣れで「**仕事の壁**」にぶつかってしまいました。翌年の第49回(2005年)には諸行事へ参加しているボランティアチームに指導を仰ぎ、前年から始めた各演舞場のサポートや、終了後のゴミの収集・分別作業を行いました。さらに第50回(2006年)には徳島県出身の大学生を中心にリーダーチームを結成して、ボランティアスタッフからボランティアチームとして機能を始めました。

ボランティアチーム

手探りから始めたボランティアも5年が経ち、6年目の第51回(2007年)にはリーダーチームが増員し、チームの名称を「**CO-ENGINE**」とし、「**高円寺の街を阿波おどりが始める前よりも終了時がきれいになるようにする。**」と活動目標を掲げ、活動マニュアルも作成してボランティアチームとしての活動が本格化していきました。

第54回(2010年)からの演舞場でのゴザ敷き、第55回からの演舞場以外の周辺道路でのゴミ回収、第56回からのインフォメーションテントでの観客誘導、第60回からは演舞場での英語のアナウンスや、捨て看板の取付・取外しと、活動の範囲を年々広げていきました。

また、第57回(2013年)からは、杉並第八小学校の児童の皆さんによる演舞場内でのゴミの回収も始まり、地域に根付いた開催がボランティアを通して広がりを見せました。

第58回(2014年)からは、多くのチームからなる**ボランティア組織全体の愛称を「チームハピネス」として、より一層の連帯感のある組織になりました。**さらに第61回(2017年)からは、高円寺中学校の3年生もスタッフとして活動に参加し連携が始まりました。



歴代ボランティアリーダー	
第51回(2007年)	阿部知彦(早稲田大学)
第52回(2008年)	井関春斗(中央大学)
第53回(2009年)	志村綾子(上智大学)
第54回(2010年)	澁谷太志(東京理科大学)
第55回(2011年)	平田展敬(東京理科大学)
第56回(2012年)	両角 準(上智大学)
第57回(2013年)	舛田貴司(東京理科大学)
第58回(2014年)	小宮山菜緒(上智大学)
第59回(2015年)	小熊隼人(東京理科大学)
第60回(2016年)	多田隆泰(中央大学)
第61回(2017年)	藤原 萌(武蔵大学)

チームハピネスの現況

- ①環境対策として演舞場及び周辺道路のゴミ回収及び分別・集積
- ②プラ柵、各演舞場のエアアーチの設置・撤収
- ③中央演舞場、桃園演舞場のゴザ敷き
- ④捨て看板の取付・取外し
- ⑤インフォメーションテント(3か所)を拠点にしての情報発信
- ⑥SNS等を使い、高円寺の街の情報、阿波おどり連の情報を発信
- ⑦演舞場での英語のアナウンス
- ⑧学校連携として、杉並第八小学校及び高円寺中学校との連携事業の推進

『チームハピネス』はチームリーダー32名を核として、組織単位で参加または連携しているNPO法人WIN WIN、サンワコムシスエンジニアリング、ミリオンインターナショナル、日本医歯薬専門学校、創価学会青年部と、ホームページから応募してくる一般ボランティアを含め、一日約200人で構成されています。



僕らも参加してます!! — 杉並第八小学校 —

杉並第八小学校の児童による演舞場でのゴミの回収は第57回(2013年)から始まりましたが、その他にも環境美化及び高円寺阿波おどりのPR活動としてのポスターの制作や、終了翌日の月曜日のゴミの臨時収集作業を行政へ依頼したり、便乗ゴミ禁止のチラシを制作し配布するなど、小学生の皆さんも積極的に高円寺阿波おどりを通じてボランティア活動を行っています。

杉並区立杉並第八小学校 校長 黒川雅仁

本校では、「杉八連～全校阿波おどり～」を運動会プログラムの午後の部一番に位置づけ、子供たちとともに保護者や地域への愛着を感じるとともに地域の一員としての自覚を深めています。この取り組みは、事前指導や当日の演奏など、連の方々の大きな協力を得て成り立っています。

また、毎年6年生が「高円寺阿波おどり」を題材に学習をしています。翌日の便乗ゴミをなんとかしようと区長へ回収を請願し、祭り翌日に特別回収する案を快諾していただきました。地域には、手作りのごみ削減啓発チラシを配布、町にはポスターを貼らせていただいています。祭当日には「杉八連」を結成し、踊り



行く連と連との間に入れていただきごみの分別回収。観客からは「がんばってね」「杉八小サイコー」と多くの声を掛けてもらっています。



これらの活動は新聞やテレビ・ラジオ等のマスコミに取り上げられるとともに、昨年度は食品容器環境美化協会より環境美化教育最優秀文部科学大臣賞をいただくことができました。

来年度においても、阿波おどり振興協会をはじめ多くの方々のお力添えをいただきながら、子供たちが地域の一員として「ふるさと高円寺」に愛着を深めるべく「高円寺阿波おどり」の学習を展開していきたいと考えています。



杉並第八小学校の児童の皆さんによる阿波おどり開催時の環境美化のボランティア活動は、(公財)食品容器環境美化協会主催の環境美化教育活動最優秀校として、『文部科学大臣賞』を受賞しました。(平成29年1月27日)

高円寺阿波おどりを支えていただいている皆様

高円寺阿波おどり開催にあたり、行政各位の皆様や『チームハピネス』の皆様以外にも多くの方々に裏方としてご協力いただいています。

- ◆商店会・自治会を中心とする実行委員(約150名)・・・主に演舞場の運営管理
- ◆杉並交通安全協会・・・交通誘導(主に北口広場一帯のバスの誘導など)
- ◆杉並消防団・・・警戒(演舞場の警戒)
- ◆東京建物管理事業協同組合・・・仮設トイレ等のメンテナンス



JR高円寺駅

駅長 **押田 秀夫**



この度は、東京高円寺阿波おどりの60周年記念誌を刊行されますこと、誠にありがとうございます。

昭和32年に数10名の方たちで始められた阿波踊りが、現在では全国に名を轟かせるほど有名な東京の夏の風物詩と言われるまでに成長されたのは、ひとえに振興協会の皆さまをはじめとする高円寺周辺一帯の皆さまが力を合わせ、正に一丸となって取り組んだ結果であると存じております。

のべ100万人の方々が集まる一大イベントをご覧に来られるお客様を、当JR東日本高円寺駅では、安全を最優先に考え、お客様をおもてなししてまいります。

東京高円寺阿波おどりが、今後益々発展され末長く地元の方々をはじめ多くの皆さまに愛され続けることを願っております。

杉並警察署

署長 **太田 一豊**



「東京高円寺阿波おどり」が60周年を迎えられ、関係者の皆様には心よりお祝い申し上げます。

交通・警備両面で大会開催に協力させていただいている当署といたしましても、この上ない喜びでございます。

昭和32年に30余名の方々が始められた「阿波おどり」が、東京の風物詩と言われるまでに成長され、さらに、この長い歴史で、大きな事故が発生していないのは、関係者の皆様方の大変なご尽力に加え、「安心・安全」な大会運営へのご配慮があったからこそと敬服しております。

杉並警察署といたしましては、今後も引き続き「安全、安心な大会」の実現のため、様々な対策を講じ、万全を期していきたいと考えておりますので、皆様方の変わらぬご協力をお願い申し上げます。

結びに、関係者の皆様のご健勝とご多幸、そして「東京高円寺阿波おどり」の更なるご発展を、祈念申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

高円寺阿波おどり60周年によせて

高円寺阿波おどり60周年によせて





大会入賞連

東京高円寺阿波おどり
(第50回～第60回)

	第50回 (平成18年)	第51回 (平成19年)	第52回 (平成20年)	第53回 (平成21年)	第54回 (平成22年)
東京都知事賞	練馬きたまちぼんぼこ連	目黒銀座連	国分寺連	新粋連	杉並区役所さざんか連
東京都議会議長賞	新粋連	みたか銀座連	経堂むらさき連	久米川連	江戸粋連
杉並区長賞	山形んだず連	新宿区役所つつじ連	小金井さくら連	美遊ひよこ連	関東学生合同連
杉並区議会議長賞	伍楽連	板橋区役所けやき連	たつのおとし子連	びっくり連	むさし葵連

	第55回 (平成23年)	第56回 (平成24年)	第57回 (平成25年)
東京都知事賞	東京新のんき連	浅草雷連	心舞連
東京都議会議長賞	三鷹商工連	伍楽連	目黒銀座連
杉並区長賞	東京葵連	東京新のんき連	久米川連
杉並区議会議長賞	紅連	中村橋新連	式穂連
徳島市長特別賞	天狗連	天翔連	いろは連

	第58回 (平成26年)	第59回 (平成27年)	第60回 (平成28年)
東京都知事賞	新宿区役所つつじ連	湘南なぎさ連	飛鳥連
東京都議会議長賞	灯 連	杉並区役所さざんか連	茂原阿波おどり連友会
杉並区長賞	東京えびす連	みたか銀座連	つくし連
杉並区議会議長賞	希 望 連	みまつ連	コムシスグループ連
徳島市長特別賞	ひよっとこ連	江戸っ子連	葵新連
東京高円寺阿波おどり 振興協会理事長特別賞	天 水 連	平和連	該当なし



東京高円寺阿波おどりが、昭和32年に始まって以来毎年盛況のうちに60周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。これまで開催にご尽力された全ての皆様に深く敬意を表します。

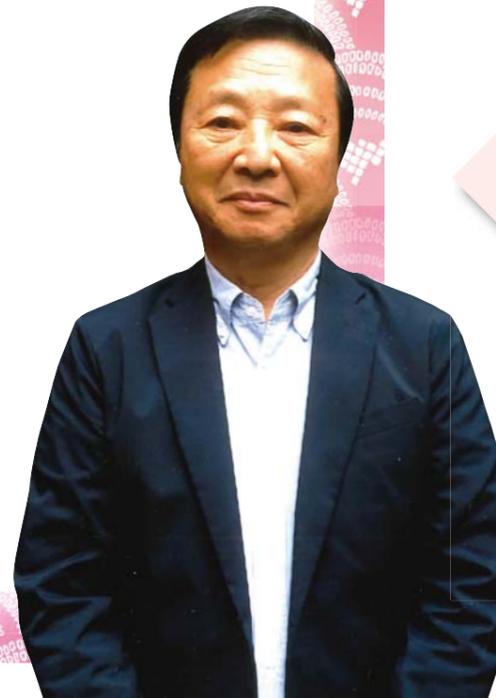
高円寺と徳島の踊り連の交流は年毎に親密さを増し、共に国内外で活動するまでになっております。

阿波踊りは、至る所で街の活性化のツールとして開催され、地域に根ざしたお祭りになっております。また、開催地間の交流も広がっております。

阿波踊りが繋ぐ全ての人々と心をひとつにして、阿波踊りを次世代へと引き継ぎ、基本を大切にしながら、時代に合わせ進化させていきたいと思っております。

東京高円寺阿波おどりのさらなるご発展と関係者皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

徳島市阿波おどり振興協会
会長 **朝日 榮作**



徳島県阿波踊り協会
副会長 **岡 秀昭**



東京高円寺阿波おどり60周年おめでとうございます。

徳島とは遠く離れた高円寺で街を活気づけようと始まった阿波おどりが、年々盛況を増し、今では東京を代表する行事へと成長なさいました。この間にはいろいろな苦勞があったことと拝察いたしますが、地元にお住まいになっている皆様が核となり作り上げた組織で事業を推進している姿は大変に立派なものです。また、近年では踊り手に留まらず、高円寺阿波おどりのスタッフとして徳島出身の大学生が多く参加するなど、市民レベルでの交流が拡大し、太い絆で結ばれています。

阿波おどりは亡き人を悼む盆踊りが始まりと言われております。今後とも踊りに向き合う「心」を大切にいただき、一層のご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。